



海のぷかぷか ただよう海の生きもの

高久至／写真
寒竹孝子／文
アリス館（Eウ）

ひろい海には、ぷかぷかぷかぷかただよってくらす生きものがあるよ。
クラゲ・魚・タコのこどもなど、ういたり、しずんだり、海の中をただよってどこに行くのかな。

ひとつのねがい

はまだひろすけ／作
しまだしほ／絵
理論社（ハマ）



年をとった一本のが灯は、長い間ひとつのねがいを
持ち続けていました。
そのねがいは、なんなのでしょう。
そしてねがいは、かなうのでしょうか。

ホカリさんのゆうびんはいたつ



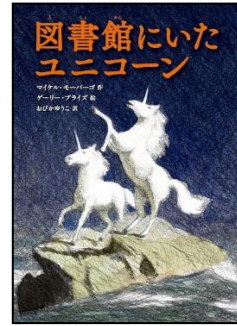
はせがわさとみ／作
かわかみたかこ／絵
文溪堂（ハセ）

ホカリさんは、ちいさな
まちのゆうびんやさん。
ある日、たぬきのこから
てがみを届けてほしいと
たのまれるのですが、

相手はいままでとどけたことがない“そらのおひさま”。さて、無事とどけられるのでしょうか？

図書館にいたユニコーン

マイケル・モーパゴ／作 ゲーリー・ブライズ／絵
おびかゆうこ／訳
徳間書店（Nモバ）



山や森をかけまわるのが大好きな少年トマス。ある日、お母さんに連れられて行った図書館でユニコーンと「ユニコーン先生」と呼ばれる司書の女の人と出会い、図書館が好きになる。やがて戦争がおこって、図書館にも火の手が…。

拝啓、お母さん

佐和みずえ／作
かんべあやこ／絵
フレーベル館（サワ）

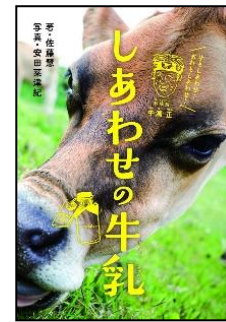


お母さんに赤ちゃんが産まれる。
安静のため入院しないといけない。
ゆなは、いやいやおじいちゃんの家で預けられる。
そこで、おじいちゃんの印刷所のおてつだいをすることに。

しあわせの牛乳

牛もしあわせ！おれもしあわせ！

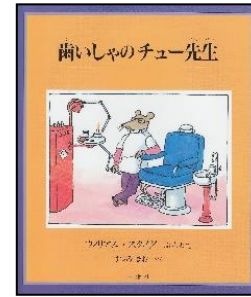
佐藤慧／著 安田菜津紀／写真
ポプラ社（64）



岩手県にある「なかほら牧場」では、牛が自由に大自然の中で幸せにいらしている。
そこで作られた牛乳は「こんなおいしい牛乳は飲んだことがない！」といわれるほど。
山地酪農をめざした中洞さんの挑戦のお話。

歯いしゃのチュー先生

ウィリアム・スタイグ／ぶんとなえ
うつみまお／やく
評論社（Eハ）



ねずみのチュー先生はうでききで、どんなむし歯もなおしてしまいます。
ある日、キツネがいたむ歯をおさえ、やってきました。
キツネは歯をみてもらいながら、とんでもないことをかんがえます。さてどうなる？

ミリー・モリー・マンデーのおはなし

ジョイス・L・プリスリー／さく
上条由美子／やく
菊池恭子／え
福音館書店（Nプリ）



あるところに、おじさん、おばさんまでいる大家族と楽しくくらしている、小さな女の子がいました。みんなにないしよですてきなポットカバーをつくるおはなしを読んだら、きっと何か、つくりたくなりますよ！

パディントン、テストをうける

マイケル・ボンド／作
ペギー・フォートナム／絵
三辺律子／訳
WAVE出版（Nボン）



青いダッフルコートに赤い帽子、クマのパディントンは、ロンドンのブラウンさんの家に住んでいます。そのパディントンが運転免許のテストをうけることに。さて、テストに合格できるのでしょうか。

小さな小さな虫図鑑 よくいる小さい虫はどんな虫？

鈴木知之／写真・文
偕成社（486）



身近な場所にいる5mmぐらいまでの小さな虫を200種以上集めて紹介。トイレやお風呂場にいる「ハート形」の小さな虫の名前は？電灯の中にある小さな虫はどんな虫なのだろう？

さよならをいえるまで

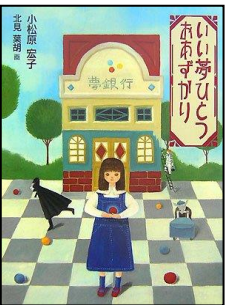
マーガレット・ワイルド／ぶん
フレヤ・ブラックウッド／え
石崎洋司／やく
岩崎書店（Eサ）



ハリーと、いぬのジャンピーはとてもなかよし。
ある日、ジャンピーは、じこにあってしんでしまいます。
でもジャンピーは、よるになったら、あそびにきてくれるのです。

いい夢ひとつおあずかり

小松原宏子／作
北見葉胡／絵
くもん出版（コマ）



バクは夢を食べる動物。銀行はお金をあずけるところ。本町通りには、バクのバク太郎が人間がみた悪い夢を食べるかわりに、いい夢をあずかる「夢銀行」がある。さあ、扉を開けて、バク太郎に会いに行こう。